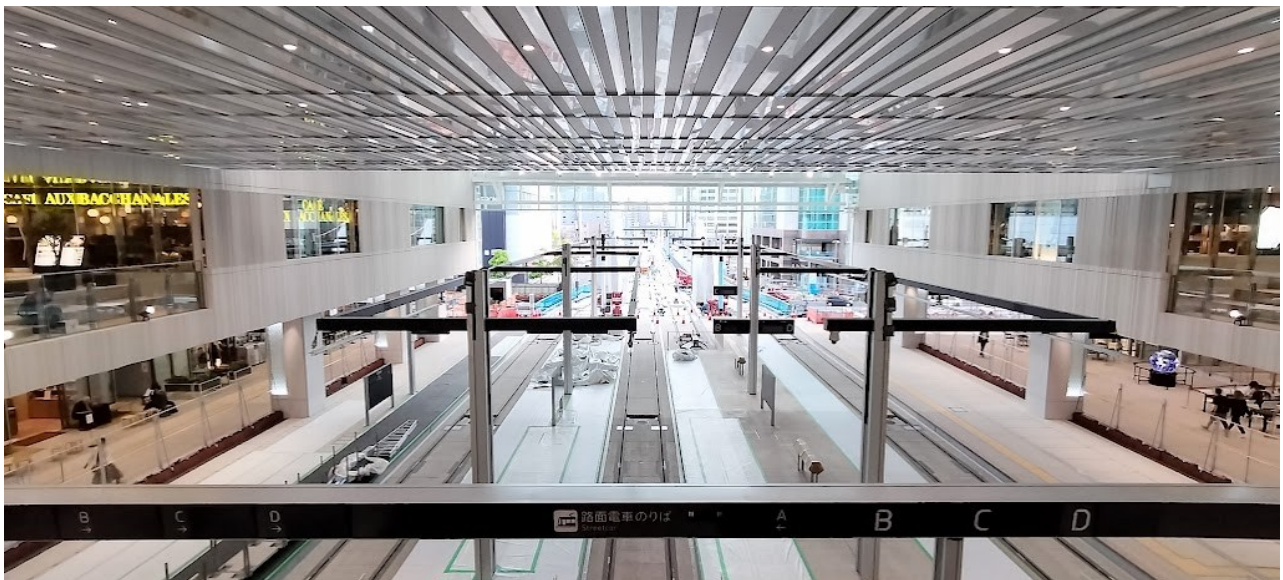




# HIGA NEWS

2025年5月 第65号

編集・発行 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会（HIGA）



（上：新しい広島駅ビル minamoa 外観、下：2F 路面電車乗り場を3Fから見る）

## 新しい陸の玄関口にようこそ！

4月上旬、HIGAニュースグループの有志が、3月24日に開業した新しい広島駅ビルの商業施設minamoa（ミナモア）を「ガイド目線」で見てきました。広島駅の新幹線改札から南北自由通路を南に向かうといきなり目の前に現れるのは、今夏完成予定の路面電車乗り場です。8月3日に広島電鉄の新線「駅前大橋ルート」が開通し、いよいよ路面電車が駅ビルの2階部分に乗り入れます。（5ページの記事に続く）



# 文化講演会「広電の路面電車と広島のまちづくり」

英語会員 三戸 元子



昨年11月16日、広島電鉄株式会社 広報・ブランド戦略室の藤田睦氏を講師にお招きして、HIGA文化講演会が開催されました。藤田氏は2012年に開業100周年を迎えた同社の社史の編纂業務に携わられた経験から、広電の路面電車の歩みと共に広島のまちの発展についてお話しされました。路面電車が市民の足としての役割だけでなく、広島のまちづくりに大きく関わってきたことに改めて気づかされる講演でした。

まずは、1912年の会社設立から戦前の黎明期。広島電鉄は大阪に拠点を置くゼネコン大林組の大林芳五郎氏が、路面電車事業のために始めた会社です。現在、広島城には内堀しか残っていませんが、当時まだあった外堀を、路面電車設置のため埋め立て工事原価で払い下げてもらい軌道敷設工事を行いました。これが市議会で大問題になったそうです。また、1917年には広島瓦斯（現広島ガス）と合併。ガス会社との合併？と不思議に思うのですが、実は夏冬で収益がバランスよく、合理的な考え方だったようです。1919年には都市計画法に基づき町村合併が行われ、電気軌道に沿って都市計画道路を整備したそうです。また沿線を開発して利用者を増やす戦略がとられました。例えば楽々園には遊園地がつくられ、その周辺に宅地が開発されました。

第二次世界大戦が始まると、電車は軍需工場へ通勤する工員を輸送する手段となります。乗客も一気に増加し、現在も被爆電車として目にする650形などが、今では小さく感じますが、当時は大型車両として導入されました。また、男性社員は戦地へ行き、15歳から17歳の女学生が勉強しながら車掌や運転手として働きました。原爆が投下された1945年8月6日には全123両の内108両が被災し、電柱や架線の被害も大きかったのですが、軍の指揮の下3日後の9日には己斐～西天満町間で運行が再開されました。

戦後の高度成長期には広島市内から宮島線が直通運転に。バス事業にも参入していた広島電鉄では、1954年からの10年でバスの車両も270両から609両へ大幅に増加したとのこと。広島の郊外に建つ多くの団地は当時の人口増加に対応するもので、広島電鉄も不動産部を設立し、団地の開発・販売を行いました。販売の際は抽選会をするほど盛況だったようです。また、私たちがガイドでよく利用するフェリー会社の一つ宮島松大汽船は、1938年に広島電鉄が資本参加（後に連結子会社）、翌年にはロープウェイの運行も開始され、広島市から弥山まで広電グループで行けるようになりました。1960年代のモータリゼーションは会社にとって大打撃となりましたが、合理化、ワンマン化、車両の大型化、中古車両の買い入れなどで何とか危機を乗り越えたそうです。

現在は旧市民球場跡地のゲートパークや、平和記念公園内のレストハウスの運営を通じて、バス、電車に乗る機会を増やし街づくりに貢献されています。今夏、広島駅ビルに乗り入れる「駅前大橋ルート」の開通で、広島街がどう変わるのか楽しみです。

## HIGAの活動報告(2024年11月～2025年3月)

- |             |                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------|
| 11月16日(土)   | 文化講演会「広電の路面電車と広島のまちづくり」<br>講師: 藤田睦氏(広島電鉄株式会社 広報・ブランド戦略室) |
| 12月 7日(土)   | 通訳案内研修(オンライン): 法定研修・自主研修                                 |
| 12月15日(日)   | 研修旅行「大三島～パワースポットでアートにふれる～」ツアー                            |
| 2月11日(火・祝)  | 岡山後楽園講演会 講師: 万城あき氏(岡山郷土文化財団研究員)                          |
| 2月22日(土)    | バラ会議準備講演会 講師: 石井稔氏(福山ばら会会長)                              |
| 2月23日(日・祝)  | 新人研修会(全国通訳案内士・地域通訳案内士・HIGA会員対象、オンライン座学)                  |
| 2月24日(月・振休) | 新人研修会(全国通訳案内士・地域通訳案内士・HIGA会員対象、現地研修)                     |
| 2月26日(水)    | 平和記念公園 大学生対象研修会(中国運輸局・HIGA共催)                            |
| 3月 1日(土)    | 2025年度定時総会・懇親会(ハイブリッド開催)                                 |

# 研修旅行「大三島 ～パワースポットでアートにふれる～」

英語会員 三上 大二

12月15日、愛媛県の大三島を巡る、HIGA研修旅行に参加しました。朝7時40分に広島駅北口デッキに集合した参加者44人は、大型観光バスに乗車し、期待に胸を弾ませて研修に出発しました。

大型バスは山陽道からしまなみ海道に入り、見事な橋を幾つも渡って大三島へと進んで行きました。途中の車内では、しまなみ海道や大三島、大山祇（おおやまづみ）神社の御祭神、神話、建築家の伊東豊雄氏などについて、詳しく解説がありました。参加者が興味を掻き立てられているうちに、バスは最初の目的地である大山祇神社に到着しました。

平安時代の貴族文化の厳島神社と対照的に、巨木の森に囲まれて静かな佇まいの大山祇神社には室町時代の武士文化を感じました。国内の国宝・重要文化財の指定を受けた武具類の8割が大山祇神社宝物館に保存されているのだそうです。事前レクチャーのおかげで、宝物館の多くの刀剣類の鑑賞ポイントがよく分かりました。昼食では刺身付鯛釜飯御膳を堪能し、大いに話が弾みました。会員間の交流は研修旅行の魅力の一つです。



次に訪れたのは「伯方の塩 大三島工場」です。日常の食生活に欠かせない食塩の製造法を直接見学することができました。参加者は塩のトッピングで引き立つ「塩ソフトクリーム」の甘味を楽しみました。

最後のスポットは、「ところミュージアム大三島」と、隣接する「今治市伊東豊雄建築ミュージアム」でした。夕暮れの瀬戸内海の絶景に奇抜な現代アートが見事にマッチしており感動しました。

これまで様々な海の景色を見てきましたが、故郷の瀬戸内海の美しさに改めて気付かされると同時に、是非この地に外国のお客様をご案内したいと強く思いました。この研修に参加できたことに感謝しています。

## 通訳案内研修（登録研修機関研修）について

HIGA事務局

全国通訳案内士は2020年度から5年に1度、観光庁が登録した研修機関（登録研修機関）が実施する研修を受講することが義務づけられ、登録研修機関であるHIGAは、毎年1回この通訳案内研修を実施しています。昨年は12月7日（土）にオンラインで実施し、午前中は5年に1度受講義務のある法定研修を17人が受講して、旅程管理や災害時の対応など、通訳案内士が実務において求められる知識について学びました。また午後には、ガイドに関心のある一般の方も対象にしたHIGA独自の自主研修があり、テーマは「弥山ガイドを頼まれたらー弥山ガイドの基礎知識ー」でした。当協会の登山愛好者が結成したサークル「HIGA山の会」が中心となって、ガイドポイント・安全管理など、参加者145人に解説を行いました。

2025年度通訳案内研修は、下記の要領で行います。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◇ 開催日：2025年11月29日（土） 9：30-12：00
- ◇ 研修内容：法定研修 ＜オンライン研修（Zoom WebinarsによるLive配信）＞
- ◇ 詳細は、2025年8月に当協会ホームページ  
<https://j-higa.net/seminar/> の「通訳案内研修」に掲載いたします。

みやじまの宿

# 岩惣

〒739-0522 広島県廿日市市宮島町もみじ谷  
 TEL 0829-44-2233 <http://www.iwaso.com/>

磯かき  
 ばやし

おかげさまで七十二周年  
 宮島で一年中  
 生かきが食べられます

TEL 0829-44-0335

## 岡山後楽園講演会～藩主の目線でやすらぎの場所を体験する～

英語会員 松本 伸一

2月11日、岡山在住のHIGA会員(チーム岡山)の企画で、岡山後楽園にて岡山県郷土文化財団の主任研究員、万城あき氏の講演会を実施しました。52人のHIGA会員の参加がありました。

万城氏は長年にわたり、岡山後楽園や岡山城の研究を続けていて、後楽園のボランティア団体「後楽塾」の講師もされています。この講演会を企画したきっかけは、後楽園にある「俗説、噂話」です。園内の栄唱橋や流店などにある俗説が、あたかも真実であるかのように語られることが多いのです。私は後楽塾出身で、万城氏から史実に基づいたガイディングの重要性を学び、HIGA会員にも岡山後楽園について知ってもらう機会を作りたいと思っていました。

講演に先立ち希望者を対象に、午前中園内ウォーキングを行いました。殿様がどの位置からどんな風景を眺めておられたのか、そのポイントをチーム岡山メンバーの筒井恵理子会員、谷川紀子会員、近藤美陽子会員、清水久仁子会員が案内しました。

「岡山後楽園の歴史と眺め方」と題した講演



は、園内の歴史や亭舎のことまで網羅したお話でした。後半に質疑応答も実施し、参加者は岡山後楽園についての知識を深められたのではないかと思います。

岡山後楽園は「やすらぎの場所」として作られました。皆様もここに訪れた時は、日ごろの喧騒を忘れ、見える景色、「そのまま」の景色を楽しんでください。今回の講演会に関わってくださった全ての皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 世界バラ会議福山大会の開催を前に

英語会員 嶺川 幸人

2月22日午後、福山市西交流館で開かれたHIGA主催の「バラ会議準備講演会」に参加しました。

午前中には、ばらが植栽された「ばら公園」「花園公園」「緑町公園」を参加者と一緒に歩きました。ばらは5月にその年の最初の開花があり、その後、冬まで4～5回咲くそうです。当日は北風が強く、雨も降ったため、公園をめぐる時、心もくじけそうに(ばらばらに?) なりましたが、何とか見て回ることが出来ました。

午後は福山ばら会会長、石井稔氏(写真)の講演をお聞きし、講演後、檀浦千里理事の案内で福山城を散策しました。これまで福山というと韃の浦くらいしか知りませんでしたが、今回福山の魅力を新た



に知ることが出来てとても有意義に感じています。

「世界バラ会議」は、40か国が加盟する世界バラ会連合の大会で、3年に一度開催されるばらに関する国際会議です。優秀庭園賞や栄誉の殿堂入りのばらが決定され、ばらの世界に大きな影響を与える場であるとともに、世界中のばら愛好家の交流の場となっています。その第20回大会が、5月18日～24日に福山市で開催されます。

「100万本のばらのまち福山」の始まりは、1956年から57年のことでした。空襲で荒れ果てた街を美しくしていこうと、現在のばら公園に、近隣の住民たちが約1000本のばらの苗木を植えたのが始まりです。その後、市内のばら花壇の数は400～500か所に増え、市制100周年の2016年には100万本のばらが咲き誇るまちになったそうです。

ローズマインド＝「思いやり・優しさ・助け合いの心」を持って育まれた福山のばら達に会いに行きませんか。

## HIGA新人研修会を開催

事務局長・英語会員 今田 裕子

HIGA主催の新人研修会（全国通訳案内士、地域通訳案内士、HIGA会員対象）を、本年も実施しました。まず、2月23日13時半～15時、オンラインによる研修を行いました。講師は津山睦美副会長と佐藤仁美会員、内容は「広島平和記念公園」で、ご案内する際のコースやポイント、気をつけておきたい点等について、第一線で活躍している現役ガイドが日本語で解説。今回は遠方に在住の方も多数ご参加いただき、広島以外の地域のガイドの皆様にも、ツアーガイドで来広の際に役立つ内容を提供できたのではないかと思います。

また、2月24日13時～16時開催の「広島平和記念公園」現地研修では、畝崎雅子会長を講師に、より実践的な研修を行いました。前半は原

爆ドームをはじめとする碑めぐり。主な8か所のスポットを、英語と日本語を交えて説明。後半は公園内のレストハウス（被爆建物）で振り返りと質疑応答。参加者の皆さんは活発に講師に質問したり、参加者同士でも交流しておられ、実り多い時間となったようです。



現地研修で説明する畝崎会長（奥）

## リニューアルした広島駅をガイド目線で

英語・ドイツ語会員 伊丹 陽子

（表紙から続く）路面電車乗り場は吹き抜けのアトリウム空間になっており、明るく開放感があります。「駅前大橋ルート」の開通により、広島駅から紙屋町東電停までの所要時間が4分短縮されること。それ以上に大きいのは、スムーズな乗り換えがもたらす心理的な効果と、雨に濡れずに移動できる安心感ではないでしょうか。

また、ミナモト1階東側にリニューアルオープンしたタクシーエリアは、屋根があり、50台以上のタクシーが待機できるスペースが確保されています。外国人観光客であふれる広島駅の南北の出口にタクシー乗り場が整備され、待ち時間のストレスが軽減されたことは、ガイドとしてはありがたい限りです。

交通ハブとしての機能だけでなく、魅力的なお店や話題のレストランもそろった施設内には、コインロッカーも大幅に拡充され、広島駅は一気に進化を遂げた印象です。そんな駅ビルで、ガイドとしてお客様を案内してみたいスポットを探してみました。

東館のエレベーターで9階へ上がると、広々とした屋上広場「ソラモア広場」が広がっています。ポケモンの遊具もあり、特に子ども連れのお客様に喜ばれそうな場所です。そのまま西へ移動し、大階段を下って西館7階のウッドデッキ広場に行ってみました。ここからは駅前大通りを南方向に見渡す素晴らしい眺望が楽しめます。路面電車の乗り入れが始まれば、広島の新しい景観になるでしょう。

3階の連絡通路から眺める路面電車乗り場（表紙の写真）も美しく、待ち時間などにお客様をご案内できると思います。

ミナモトには、お客様におすすめできる場所がまだまだありそうです。今後も会員間で情報を共有し、お客様にもミナモトの魅力を楽しんでいただきましょう。

長らく工事が続いて暗く迷路のようだった広島駅南口が、外国のお客様にも自慢できるような「陸の玄関口」に生まれ変わりました。


**つばめ交通株式会社**


〒732-0066 広島市東区牛田本町 4-5-10

**総機センター 082-221-1955**  
<https://www.tsubame.co.jp/>







**総本店**  
 広島市中区胡町5-12 東劇ビル2階  
 082-241-7100



## HIGA文化講演会のご案内

本年度のHIGA文化講演会は「被爆80年記念講演会」と題し、講演とパネルディスカッションの二部構成で開催します。

第一部の基調講演には、広島大学理事補佐(平和学習担当)で平和センター教授の川野徳幸氏を講師にお迎えし、被爆後80年間の歩みを踏まえ、外国人にヒロシマを伝える最前線に立つ通訳ガイドが知っておくべきこと、伝えていくべきことを提言していただく予定です。川野氏のこれまでの被爆証言の収集の成果などを通じ、被爆者の心の軌跡をたどることは我々ガイドばかりではなく、皆様にとって新たな視点となることでしょう。

第二部は、基調講演を受けてより具体的に「通訳ガイドを通じて伝える被爆と平和」について考えるパネルディスカッション形式です。

多数のご参加をお待ちしております。

### 「被爆80年記念講演会」

**第一部：基調講演「被爆80年に寄せて」（仮題）**

講師 川野 徳幸 氏（広島大学理事補佐・平和センター教授）

**第二部：パネルディスカッション「通訳ガイドを通じて伝える被爆と平和」（仮題）**

日 時：2025年7月12日(土) 午後1時30分～4時10分

場 所：TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前 ホール4A  
(広島市南区大須賀町13-9ベルヴェオフィス広島)

定 員：100 人（要予約）／オンライン配信予定

参加費：無料

※文化講演会に関する最新情報は、[HIGAホームページ](#)にて随時お知らせいたします。



### 【ご協力ありがとうございます】

~with sincere thanks~



HIGA賛助会員の皆様（2025年5月現在 順不同、敬称略）

団体会員： 広島商工会議所 広島トヨペット（株）（有）はやし  
JTB協定旅館ホテル連盟広島支部 つばめ交通（株）（株）藤い屋  
（一社）広島県観光連盟 カフェ・ポンテ 岩惣 広島県民文化センター  
東洋観光（株）（株）JTBグローバルマーケティング&トラベル

個人会員： 古谷 英明 延本 真栄子 藤井 倫子 清水 憲吉 辻 孝和  
吉井 敏弘 河野 博行 くらわんか 青野 重信 藤井 芳子  
田島 謙治 花やしき 畠崎 辰登

賛助会員としてご協力くださる団体、個人の方を募集しています。ぜひこの機会に入会をご検討くださるようお願いいたします。年会費は一口につき団体会員2万円、個人会員5千円です。団体会員には、HIGAニュースに広告掲載の特典があります。

お申込み、お問合せは当協会事務局 082-245-8346（月～金 11:00～16:00）まで。

本誌へのご感想・ご意見をお寄せください。HIGA事務局へEmail: [higa@urban.ne.jp](mailto:higa@urban.ne.jp) どうぞ。

【表紙の写真】 英語会員 佐藤 仁美

【編集後記】第4次AIブームの昨今、日常生活のあらゆる疑問、直面する課題の解決に、つい手を触れてしまうChatGPT。こうして努力せずに最短ルートで答えと信ずるものを得て大丈夫？と自問自答する日々だ。効率を求めるあまり失うものの大きさ、「文化は無駄から作られる」としたら、本当の豊かさとは？と改めて考える。（M）



広島平和記念公園対岸  
元安橋たもとのオープンカフェ

**Caffè Ponte**

カフェ・ポンテ

【住所】広島市中区大手町1丁目9-21  
【予約専用電話】082-247-7471  
年中無休

大正十四年創業

 **宮島 藤い屋** 

〒739-0588 広島県廿日市市宮島町 1129  
TEL 0829-44-2221 FAX 0829-44-2022  
オンラインショップ <http://www.fujiya.co.jp>